



2004年10月17日

セカンドハンド通信 NO.38

NPO法人セカンドハンド 本部事務局 〒760-0055 香川県高松市観光通1-1-18
TEL&FAX 087-861-9928 発行責任者・新田恭子
E-mail:jimukyoku2hand@yahoo.co.jp http://www.eskimo.com/~2nd-hand/



学生部「小指(こゆび)会」がカンボジアにToulPrasat中学校を建設 支援金額まであともう一歩……

プノンペン中心部から20km離れたSensok地域に、スラム街で発生した火事(2001年)の被災者が移住しています。移住当初は生活基盤が整っていませんでしたが、NGOと行政、そして住民の努力により少しずつ整備されています。

この地域には3500世帯、約13000人の住民が暮らしており、そのうちの半数は子供です。小学校は主に日本の団体の支援で公立小学校として建設されました。中学校は2002年、



小指会の支援で完成した中学校。
最終的には3年制の高校と職業訓練校まで完備したいそうです。



夏休み、炎天下4日間がんばりました!

SenSok小学校の教室を借りて1年生140人で始まりました。翌年カンボジア国王の寄付で校舎が建設されたものの、2年制で総生徒数が340人となったため、教室が充分でなく、二交代制で授業を行っていました。そして今年、3年制となり生徒数が740人となったため、生徒数に対して全く教室が足りなくなり、新校舎を建設することになりました。

ここにはSenSok地域周辺の村に住む生徒も通っています。この中学校ができるまで、19kmも離れたところが一番近い中学校でした。道路が悪く、バスなどの交通手段がないため、小学校を卒業してもほとんどの生徒は中学に進学できませんでした。しかし、この中学校が開校したことで子供たちの中学進学の可能性が大きく広がりました。

小指会が中学校建設に取り組むことになったきっかけは、現地NGOからセカンドハンドへの支援要請でした。ヨーロッパの団体から学校建設のために2万ドル(約220万円)の寄付があったそうですが、中学

校建設には3万ドル必要なため、あと1万ドルを支援してほしいという連絡でした。ちょうど小指会が同年代ということで、小指会のプロジェクトとして取り組むことになり、今年4月から募金活動などをはじめました。文化祭や体験学習で協力してくれた中・高生の皆さんののおかげで、目標金額120万円まであと一歩のところまでできました。中学校は10月の新学期にあわせ、9月にすでに完成していますが支払いはまだです。約束の支払い期限は12月まで。現在、チャリティーバザーや商店街で募金活動を行っています。小指会を見かけたら、是非ご協力ください。寄付での協力も大歓迎です!振込みの場合はセカンドハンドの口座に「小指会」と忘れずに書いてください。

ご協力をお願いします!

【小指会メンバーの声】

小指会の活動をしていると、一人一人のはたらきが大きな力を持っていることを実感します。仕事は大変だけど、やろうと思えば国際協力がって難しいことじゃないんだと分かりました。

来年3月、建設した中学校を訪問するスタディーツアーを実施予定です。開校式列席、生徒の家でホームステイ、学校での交流等を予定しています。小指会の活動に携わった人を対象としています。

関心のある方は12月中(できるだけ早く)に事務局に御連絡ください。

(予定:3/16頃から12日間、参加費10万円程度)



「セカンドハンド」は、皆様からいただいた品物を販売し、収益金すべてを援助にあてる国際協力団体です。主にカンボジアに小学校を建設など、教育支援、自立支援をおこなっています。チャリティーショップや支部は無償で働くボランティアスタッフが支えています。店舗や倉庫は無料または格安でお借りするなど、皆様のあらゆる協力の上で成り立っています。「一人一人の力は小さくても、集まれば大きな力となる」セカンドハンドのモットーです。あなたも世界の誰かのために、ボランティアしてみませんか?

商品提供やご寄付など、支援して下さい皆様へのお礼とご報告は、このニュースレターにかえさせていただきます。

次の小学校建設支援校が決まりました!

支援校は、コンボン・トム州のサクリエム村のサクリエム小学校です。この村は1923年の第2次世界大戦の時に、点在する小さな村が治安

上統合されてできました。小学校は1954年に開校してから度重なる戦闘のため閉・開校を繰り返し、戦闘のおさまった1995年に再び開校し現在に至っています。また戦闘時に基地になったため、基地を守るために配置された地雷や爆薬が残っている可能性



校庭の一角の危険地帯。「サクリエム」の由来は「戦争(サン)の森(クリエム)」



今にも崩れ落ちてきそうな校舎

があり、近いうちに地雷・不発弾除去作業が行われることになっています。木造校舎が3棟あり348名の生徒が通っていますが、壁や屋根の痛みが激しく危険なため、新校舎の建設が急務です。

コンサートで国際協力 小笠原(高校1年生)

8月29日、グルッベルミネ(音楽団体)主催で「紅白音楽合戦」と題して屋島少年自然の家でコンサートを開きました。中学生以上の生徒が中心に企画しましたが、僕はコンサートの休憩中にセカンドハンドのテーマソング「少しだけ」を流す提案をしました。今年5月のチャリティーコンサートでレオンさんの「少しだけ」を聞いてとても印象深かったからです。曲を流すだけでなく会場でセカンドハンド紹介の展示やカンボジア商品販売コーナーも設けました。初めての試みだったのでとても不安でしたが、多くの人が興味を持ってくださり商品もたくさん買っていただくことができました。

今回このような小さな思い付きで、国際協力のできたのはとてもすごいことで、僕達の「コンサートでできること」の可能性が大きく広がったと思います。今後もコンサートを通してたくさんの方にセカンドハンドを知っていたらよい協力していきたいと思えます。



小笠原君の提案で設けられたコーナー

文化祭でカンボジア支援! 小指会の中学校建設に参加した高松商業高校2年8組

今年5月、セカンドハンドの招きで来日していたカンボジアの自立支援団体代表のイ・シバナさんが高松商業高校でカンボジアの現状について講演する機会がありました。その講演を聞いた生徒から、文化祭でセカンドハンドを題材にし、できればカンボジアを支援したいという提案がありました。

夏休み、セカンドハンドのカンボジア講座に参加して勉強したり、小指会のチャリティーバザーを体験してみたり、文化祭に向けて着々と準備を進めていました。

文化祭当日の会場は、色鮮やかな手作りの看板や写真などが工夫して展示されており、教室全体に「カンボジアの風」が流れていました。

チャリティーバザー、クメール数字計算クイズ、今すぐできるボランティアコーナーでの使用済み切手の仕分け、学内至るところでの募金とアイデアがいっぱいの取り組みでした。この文化祭で2年8組は最優秀賞を受賞したそうです。大きな成果と高い評価を得た文化祭でしたが、生徒の皆さんにとっても実りは大きかったようです。

【やってみての感想】

ボランティアする人は偉いと思っていたけど、やってみると楽しく活動ができたお金を集める大変さを知り、人の優しさに触れました。感動です...内面的に大きくなった気がします。カンボジアは離れているけど、自分たちができることはたくさんあると分かりました。作った展示物で、多くの人にカンボジアの現状やセカンドハンドを知り自分達の感じたことが伝わって欲しいです。皆の力が集まって12万円もの大金を集めることができると嬉しかったです。このお金がカンボジアの人々に役立つと思えば苦労とか大変だったことを忘れるくらい嬉しい

☒ 頑張っている様子は新聞等で見かけますが、ニュースレターで詳しく知ることができています。ありがとう。

(高松市 匿名希望の方)

支援状況について報告します

<医療支援>

マットの輸送を計画中です!

介護用品のレンタルを行っているトーカイさんから、医療用のマットの提供があり、カンボジアに届けるために準備中です。

定める基準が高いために産業廃棄物として処分されていたマット。わずかなへこみしかなく、状態がいいためカンボジアで再利用できないかという依頼がありました。プノンペン市立病院では、フランスの支援で建設された病棟には新しい器具やベッドが揃っていますが、古い病棟ではほとんどマットがない状態のため木製ベッドにごさや布を敷いて横たわっている状態でした。現地からの要望もあり、来年春頃までに送れるよう計画しています。

輸送費はJICS(日本国際協力システム)に助成金の申請をしています。

セカンドハンドが建設支援したヘルスルーム(貧困者を対象にした保健医療施設)は周辺住民にとっても喜ばれています。貧困者が出産&入院できる病棟を今年中にプノンペンで建設着工します。次回進捗状況を詳しくお伝えします。



<スヴァイリエン州、職業訓練センター>

2003年に完成した職業訓練センターでは、02年から訓練を受けて育成した指導者が地域の女性たちに職業訓練を行っています。現在2期生の訓練中です。

05年度までの3年間、運営費支援を行う予定ですが、今年はトレーニング用資材、机、コンピューター&プリンター、ジグザグミシン、アイロン、スタッフの給与、研修費等約270万円の支援要請がありました。今年度は全運営費の70%までを支援する予定ですが、セカンドハンドの当該プロジェクト予算の今年度の範囲を大幅に上回っているため、次回の運営委員会で支援金額について話し合う予定です。どこまで支援を行うべきか、自助努力で購うべき部分等の話し合いが行われ、支援額を決定することになります。

●● 弁論大会でセカンドハンドを語り最優秀賞!! ●●

「人が人にできること」 徳島文理大学2年 仙波 芙美

副賞はカナダ留学。ホストファミリーと仙波さん(右)

国際協力について改めて考えさせられたのは、セカンドハンドのカンボジア商品を作っているカンボジア女性の講演を聞いたときです。カンボジア内戦の残した爪あとは、私の想像以上でした。

この講演を聴いてからしばらくして、大学主催の英語弁論大会があったのですが、そこで私はセカンドハンドで学んだ国際支援の重要性について話しました。その結果、大会で最優秀になることができ、後日カナダでの短期留学という機会を得ました。

カナダでの生活は、とても有意義なものでした。その理由はカナダでは「みんなが住みやすい環境づくり」を目指すことが当たり前になっている



からです。ボランティア

はすでに生活の一部です。カナダ滞在中にピクニックをしに行ったときのことで、公園には多くの食べ物やゲームが用意されており、たくさん家族が集まりました。集まった人たちが食べ物を買ったお金やゲーム料はすべてチャリティーになるそうです。また、多くの家族が集まると、当然子供もたくさんいるわけですが、小さい子供の世話を年上の子供が当然のように見てあげていました。またカナダでは、地域で行うサマーキャンプのリーダーは全員学生ボランティアです。チャリティーや学生ボランティアという考えが当たり前の国というのは本当に素晴らしいと感心しました。

セカンドハンドでも多くの学生ボランティアが頑張っていますが、もっとたくさんの学生にカンボジアの現状や支援の必要性について実際に見聞きしながら学んでもらいたいです。「みんなが住みやすい地球」にするために活動する人々を育てる環境がセカンドハンドには存在しています。これからもみんなの笑顔のために頑張っ

04
7/12

専月 日 曜日 5月11

大学生 仙波 芙美
(川原さゆり 氏 氏)

私が所属するボランティア団体は、カンボジアの職業訓練センターで作られた製品を日本国内で売っている。私も時々、そのチャリティショップで店員のボランティアをする。もちろん、売り上げはカンボジアを支援に活用される。

ある時、訓練センターで講演しているカンボジア女性に話を聞いた。1975年から内戦について話した。彼女は国内の現状を説明する時、突然泣き出した。私は、その顔を見て、

たのしみではない。彼女の出会いを通して、つたと思ふ。彼女がみんなだ「世界平和のために」という気持ちを持って、これからも地道にボランティア活動を通じていくつもりだ。

支援の重要性を感銘した。しばらくして、英語スピーチコンテストに参加する機会があった。迷わず演説を「私の奉仕精神を中」に決めた。カンボジアの現状や国際協力の必要性を伝えたい。だから、いや、私が一番聴いてほしい。たかっ人は、カンボジアの現状を話してくれた女性であつた。

カンボジアの女性と出会い

☑ 私たちができることを1つでも実践して、人々が幸せに暮らせる社会を築いていきたいですね。(東かがわ市 井原様)

家庭から世界へ ～ 品物提供が国際協力資金となるまで ～

品物の提供



全国からたくさんの品物が無料で提供されています。

箱詰めして発送する大阪在住のKさん
(本人・商品提供歴6年)

一人では何もできないけど、セカンドハンドの手を借りて困っている人のお役に立てるのは嬉しいです。友人が不用という物の中から状態の良い品を選び出して送ったり、梱包の際にはボランティアの方が整理しやすいように心がけています。本来自分が最後まで使うべきものを引き受け、再生して下さることもありがたいです。

全国の支援者から送られる品物はボランティアスタッフにより支援金に換えられ、支援を必要としているところに届けられます。その流れをご紹介します。

本部

1F高松店 商品の受付

全国各地から送られてくる商品、店頭で直接持ち込まれる商品は1ヶ月で約200箱!



せま～い階段を上って2階へ運びます

2F倉庫 仕分け

衣類、食器、雑貨に仕分けして箱詰めします。



右側が提供品の山。左側は仕分け済みの箱

商品の詰め方で提供して下さる方の気持ちが伝わってきます。添えられたお手紙に励まされることもしばしば。

ニュースレター

発行1ヶ月前に編集会議を開き、掲載内容の決定と記事の分担をします。活動内容や支援先の様子が変わりやすく、また楽しく読めるよう、何度も書き直したり手を加えたり 徹夜での作業になることも...。手作業で全国の支援者に送っています。

(読者の声)
読んで自分の寄付が活かされていると実感します。セカンドハンド通信はわかりやすく内容が濃い!いつも考えさせられています。

運営委員会

支援先の決定、活動方針、チャリティーイベントの企画、運営システムの構築にかかわることなど多岐にわたり話し合います。
*誰でも参加可。第2・4月曜夜7時半

スタディーツアー

年に1回以上、現地を訪問して支援の成果やニーズ(必要とされていること)を自分たちの目で確かめます。(もちろん全額自己負担!)
運営委員会で視察報告。もちろんこのニュースレターでも報告。

総会・理事会

理事会で年間の大まかな予定や方向性が話し合わせ、総会で出席者からの承認を得ます。

総会に関心のある方なら誰でも出席できるよう公開しています。



平成16年度 総会

支援



「オークン」カンボジア語でありがとう



支援の成果のひとつ、医療施設

支援金

提供する方の気持ちとボランティアスタッフの汗と涙の結晶(?)

活動場所の提供や寄付で支えて下さっている皆の力で支援金が作られます。

*会計報告は各店頭に掲り出しています

『提供者カード導入』を検討中です

「誰もが参加できる」のがセカンドハンドの一番いいところですが、ゴミの有料化にともない、提供品の店頭での放置、質の悪化等が問題になっています。そこで、商品提供は登録した人のみ、という登録制を検討中です。様々な問題が考えられますが、ひとつ

のメリットとして、将来的に登録者が商品の寄付をした場合に、税金の寄付控除を受けられるという可能性が考えられます。どういったシステムがボランティアにとって働きやすく、支援者にとってベターなのか、運営委員会で話し合っています。来年中には方針を固めたいと考えております。今後とも、ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

人手が少なく大変です! 力ならある!という方、車の運転ができる!という運搬ボランティア募集中!



仕分けされた商品は、すくしばいになるため、週1回倉庫に運搬します。

運搬

商品化

担当ボランティアが値段別に仕分けし、一つ一つ手作業で値札がつけられます。



倉庫

「ちょっとのシミだから大丈夫だろう」と送られた衣類、実はゴミ。汚れのある商品はゴミになります。ゴミは有料!!



倉庫の一角のゴミの山。一人のまっしぐらが全国から集まれば...

募集!

高松市内で倉庫を貸して下さい!
大家さんにご利用になるため瀬戸内町倉庫は年内に要移転。

運搬

販売

店舗やバザー会場に並べられ、お客様に買われることで提供された品物が支援金になります。



バザーの準備、片付けはホントに大変!



売上金=国際協力の資金

GOOD GOODS

銀製にわたりの置物

SECOND HAND
fair trade

2005年の干支はにわとりです。上下に開くようになっており、香合として使うこともできます。手作りのため、大きさ、形が少しずつ違います。



にわとり小(3073)

¥1,650

サイズ:高さ4.5cm/長さ6cm/幅3cm

にわとり大(3074)

¥2,000

サイズ:高さ6cm/長さ9cm/幅4.5cm

色:シルバーのみ

*数量限定商品。
お早めにお求め下さい。

カンボジア自立支援につながるフェアトレード商品です。

4ケタの商品番号で御注文下さい。

チャリティーCD「少しだけ」(全6曲) ¥1,500

セカンドハンドに出逢ってきた素敵なレオンさんのやさしさ溢れる唄声とメロディー。「今までより、少しだけ…頑張ってみようかな」という気持ちにさせてくれるCDです。



販売レコード店 タマル本店、エル、ゼルbyタマル高松店、タマル太田店、ゼルbyタマル丸亀店、VOICE、DUKE

オリジナルポストカード
(7枚組) ¥500

これまでのセカンドハンドのスタディーツアー秘蔵写真の中から選びました。ハガキの表には、セカンドハンドからのメッセージも入っています。セカンドハンドをもっとたくさんの方に知っていただくために、是非使ってください。



募金箱 無料

ご家庭、教室、職場、どこに置いてもOK!
なお、募金箱は再利用してくださいね。

NyoNyum(ニョニユム)

カンボジア発の日本人向け情報誌、販売中!



1冊 ¥500(月刊誌)

食べ物、人気アーティスト、おもしろい新聞記事など情報満載。セカンドハンドから購入していただいた場合、売上げの一部が寄付となります。

定期購読者、募集!

同封の郵便振替用紙に、住所、氏名、連絡先、「ニョニユム定期購読希望」と明記し、1年分6,000円をお振込ください。定期購読の場合、送料無料サービス。

ニュースレターバックナンバー

販売できます。

郵送での購入をご希望の場合

郵便振替口座に「CD希望」「ポストカード希望」「募金箱希望」「カンボジア商品希望」など明記し、住所、氏名、希望枚数を御記入の上、商品代金に下記の送料を加えてご入金下さい。

送料: CD、書籍類 200円 ポストカード 90円

募金箱 160円 カンボジア商品など1箱 500円

合計1万円以上お買上げの場合、送料無料

[郵便振替口座]

口座番号 01620-6-60029

加入者名 NPO法人セカンドハンド

いつも助かってます!

爽やかな助っ人たち
「ピースフルユース」

高松の学生ボランティアサークル、ピースフルユース (peaceful youth) は、世界平和に貢献することを目的として月に何回か集まり、清掃をはじめとしたボランティア活動を行っています。セカンドハンドでもバザーの搬入、片付けで活躍してくれています。バザーとなると一度に数百箱を会場に運ぶため、とにかく運搬が大変!! ところが、若いし元気だし、人数がいるので倉庫では隣の人に荷物を渡せば流れるように車の荷台に運ばれる.. 救世主のように現れ、「こちらでも楽しかったです。ありがとうございます!」と、とっても爽やか♥
いつもありがとうございます!



SPECIAL THANKS 敬称略

【店舗・倉庫】丸亀TMO推進協議会(丸亀店)、西川(福岡店)、弘陽商会(朝日新町)、金丸水産・中村(瀬戸内町)、富井(満濃町)
【出店協力】エースワンサポート高松店、麟【ニュースレター発送協力】三木中学校、その他多くの方々【寄付】香川/赤尾幸子、入江治子、岡美美子、川野淑子、久保智枝、紅谷奈津江、(有)田中工務店、初瀬勝彦、三谷範至、森田順子、山下真理子、山田美智子、愛知/YOU倶楽部、岩手/佐藤祥子、大阪/黒田貞子、大分/坂口寿美雄、岡山/西郡育子、田中勝己、田中酒店、藤川幸恵、神奈川/林雅子、長山喜代子、岐阜/鈴木香子、高知/久島茂子、埼玉/阿部守、東京/跡部裕子、マスマテリアル(株)紫寄安寧、ユ・リ・ドシステムズ(株)、富山/荻浦いく弥、奈良/水本恵子、福岡/古賀邦雄、後藤クエ、森一郎、北海道/佐藤富美子、【その他】(株)イシハラ、大山牧場、香川マツダ、かめびし、コスモ商事(株)、佐川急便(株)、セカンドフット、セキヤ、天勝(丸亀)、錦郵便局、八番館、【印刷協力】アイニチ(株)

☑ 台風の影響、大変だったみたいですね。何もできない自分ががゆいです。(東京・M様)

☑ 片原町店が浸水し、ご心配をおかけしましたが、もう大丈夫です。

◆◆各店・支部便り◆◆ セカンドハンドの輪を広げよう！ 支部募集中！

川口支部

8月29日(日)、10周年のミニ講演会を行いました。みんな10周年記念ビデオを観た後、新田代表よりセカンドハンドを始めたきっかけから今日までの話し、カンボジア支援の現状など、詳しく聞かせていただきました。その後は、代表手作りのカンボジアのデザートをいただきながら、和気あいあいと和やかな雰囲気の中、交流の時間を過ごしました。今回、初めて講演会に参加された方もいらっしゃいましたが、皆さん「参加して良かった」と感想を述べて下さいました。

片原町店

新たな 顔 が誕生しました！

念願の看板が完成しました。今年3月12日にオープンして



「舞台美学の方たちがペンキの塗り方や採寸の仕方など丁寧に教えてくれました」

以来、看板がなく、ポスター用紙で作成した名前をテープでとめていましたが、風で1文字2文字と吹き飛ばされ、ハシゴに登って張りなおすこともしばしば。この度、(有)舞台美学さんのご指導のもと高校生の皆さんが素敵な看板を作ってくれました。制作現場は(有)舞台美学本社。

「雨の日も風の日も、放課後は看板制作のため通って、よく頑張ったなあ」と社員の方。高校生は「使い方さえわからなかった道具もだんだんコツをつかんで上手く使えるようになった」「普段何気なく見ていた看板だけど、こんなに苦労して作られていることを知り、社会勉強になった」「看板を取付けた時「これは私たちが作ったんだ」という感動と共に自信が湧いてきた」と目を輝かせて話してくれました。素敵な看板を作ってくれた高校生たち、惜しみない協力と高校生たちに貴重な経験をさせてくれた(有)舞台美学さん、本当にありがとうございました!!



看板の右側面に製作者の名前が書かれています。

退任のご挨拶

セカンドハンドを支えてくださっている皆様へ元気と勇気をいただいた、かけがえない毎日でした。短い間でしたがセカンドハンドに携われたことに感謝しています。家族の看病のため新潟に帰らざるを得ない状況になったため離任しますが、今後はボランティアスタッフとしてセカンドハンドに携わって参ります。今後ともよろしくお願いいたします。

布施 勇姫

大阪支部

10周年記念講演会開催！

去る9月11日、大阪梅田でセカンドハンド10周年記念講演会を開催しました。

土曜の夕方という週末のゴールデンタイムにも関わらず、40名近くの方にご参加頂きました。バザー開催や提供品を送るなど、以前からセカンドハンドを支援して下さいている方をはじめ、今回初めてセカンドハンドを知った方もご来場頂き、セカンドハンドのこれまでの活動やカンボジアの現状についての講演に熱心に聞き入っていました。講演の最後には10年間の支援活動をまとめたビデオの上映もあり、活動の様子がよくわかったと好評でした。当日の募金は8435円、カンボジア商品等も25000円の売り上げがありました。ご協力頂きました皆様、ありがとうございました。1日1日の活動は地道で小さな歩みに見えてもそれが1ヶ月、1年と積み重なって様々な支援を可能にし、10年の節目を迎えたように、セカンドハンドの原点は1人1人の第二の手(セカンドハンド)。これからもどうぞよろしく願います。



大阪、梅田で

京都支部

京都支部はなくなりますが・・・

2002年、難病の子どもと家族を支援する「きょうとサポートハウス」を立ち上げるため、セカンドハンドに研修に訪れたことがきっかけで支部として活動していましたが、サポートハウスが軌道にのったことを機に、支部としてではなく「きょうとサポートハウス」の活動のひとつとしてセカンドハンドを通し、カンボジアの子どもたちの支援やカンボジア商品の販売を行うことになりました。セカンドハンドから学び役立ったノウハウを周りの方に提供していきたいと思っています。今後も総会などのイベントには参加させていただきます。これからもよろしく願います。

各店・各支部ボランティアスタッフ募集中です。お近くのセカンドハンドまで是非お問い合わせください!

<台風被害について>被災された皆様にお見舞い申し上げます。瀬戸内町倉庫周辺の被害がひどく、皆様にご心配をおかけしましたが、セカンドハンドは2Fをお借りしているため、直接的な被害は片原町店だけでした。ご心配ありがとうございました。

information

求人情報

募集人数:2名
業務内容:事務局スタッフ、
ボランティアコーディネーター
(パート可)
応募条件:社会経験2年以上。体力があり、
長期勤務可能な方。人間性重視。
給 与:当事務所規定により支給
(試用期間3ヶ月あり)
応募方法:履歴書・志望動機を郵送または
電子メールで本部事務局まで。
締め切り:適任者が決まり次第

セカンドハンド通信を ネットでGET!

ホームページからダウンロード
可能な方、郵送は必要ないという方は
2nd-hand@eskimo.comに
ご一報ください。
発行のお知らせを
メール配信いたします。

収支報告書は毎月セカンドハンド店頭で掲示しています。

講演会@福岡支部

10年間の活動と支援報告
福岡店:12/9(木)午後
詳細はお問合わせ下さい。

商品提供の受け付け

食器、日用品など季節のないものは常時OK
新品または新品に近いものをお願いします。

秋物 10/31まで

冬物 11/1～12/10

*在庫過多のため受け付け期間が
変更しています。御注意を!

スタディーツアー 参加者募集

期 間:3/16～12日間程度
参加資格:小指会の活動参加者
参加費:10万円程度を予定
内 容:小指会が建設支援した
中学校の視察・生徒との
交流、現地NGO訪問など
申し込み締切:12月末まで。

集めてます!

書き損じハガキ
(未投函の官製ハガキ)
未使用の商品券などの金券
使用済み切手
破損のない切手を周囲5mm程
残して切取る。
詳細を送ります。
本部にご連絡ください。

ボランティア募集!

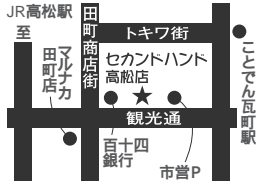
運搬スタッフ
荷物の運搬、車の運転などの。
倉庫作業スタッフ
仕分け作業など。

ニュースレター発送作業

今回は12/23(木・祝日)
参加可能な方は、本部までご連絡ください。

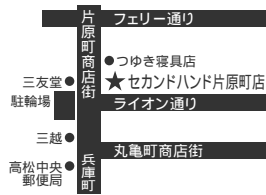
高松店

高松店 1F
セカンドハンド本部 3F
〒760-0055
高松市観光通1-1-18
TEL:087-861-9928
営業時間:
10:00～19:00



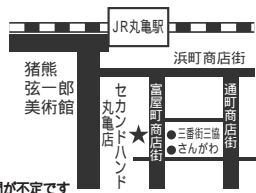
片原町店

セカンドハンド片原町店
〒760-0040
高松市片原町9-1
TEL:087-822-3552
営業時間:
10:00～19:00



丸亀店

セカンドハンド丸亀店
〒763-0021
丸亀市富屋町30-1
TEL:0877-25-2876
営業時間:
火・水 11:00～13:00
木 11:00～16:00
ボランティアスタッフ不足のため営業時間が不定です



福岡店

セカンドハンド福岡店
〒814-0131
福岡市城南区松山2-7-15
TEL/FAX:092-871-5760
(E-mail) r-kimura@highway.ne.jp
営業時間:月・木 11:00～15:00



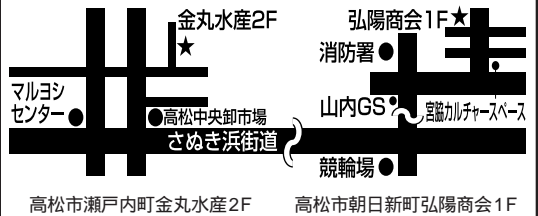
支 部

セカンドハンド川口支部
責任者 早船 森田 090-4169-9940
(E-mail) tsubasa@i-staff.co.jp
ホームページ <http://www.i-staff.co.jp/2nd-hand/>

セカンドハンド大阪支部
徳 090-6241-3768
(E-mail) tokuyo@d1.dion.ne.jp

セカンドハンド北海道支部
大波 Tel:090-2695-9390 Fax:011-785-2311
(E-mail) satomie@seagreen.ocn.ne.jp

倉 庫



商品を郵送する場合には
高松店にお願いします

このニュースレターは3ヶ月に一度5500部発行しています。
封筒作り、発送作業等をボランティアで行い、約4200部を全国
の支援者へ無料で発送しています。購読ご希望の方は、ハガキ、FAX、
メールなどでお申し込み下さい。